

健やかに生き、安らかな最期を

Living Will

2018年
7月発行

No. 170

リビング・ウイル

女優

仁科亜季子さん

がんとともに
笑顔で生きる

○18年度事業計画・予算

○今田かおる・受容協力医の在宅支援

○連載「四季の歌」夏は来ぬ



一般財団法人
日本尊厳死協会

仁科亜季子さん



笑って「完走」できればいい

インタビュー・構成／会報編集・郡司武 写真／八重樫信之

——仁科さんというと、子宮頸がん予防ワクチンキャンペーンで広く知られています。最初から病気のことを聞きして恐縮ですが、

仁科さんが子宮頸がんを発症されたのはいつ頃でしたか？

仁科 38歳になったばかりでした。5月の大型連休に、友だちのご家族と台湾に旅行に行っただけです。そこで私だけ、食べ物に当たってしまい、何も食べられずにホテルでうなっていました。日本に帰ってから、かかりつけの内科医に診てもらいましたら、もう食中毒の症状は収まっていたのですが、「しばらく婦人科の検診もしていないのでですか」と言われ検査を受けたんです。そしたら子宮頸がんがわかった。子宮、卵巣、リンパ節を摘出しました。もし食中毒

がなければ発見が遅れていた可能性がありますね。命拾いをしたと思っています。

——それまで自覚症状とか兆候などはなかったんですか。

仁科 子宮頸がんというのは、出血などの症状が現れ出した時にはかなり進行していると言われてます。女性ですから生理とか膀胱炎と出血を見間違えたりするんですね。私は生理が不順だったもので、子宮頸がんの進行にはまったく気がつきませんでした。

——がんのステージはどのくらいだったんですか。

仁科 私の場合は、タチのいいものではなかったようです。発見が遅れていたなら「あと2年くらいだったね」と医師に言われましたから。「おお、びっくり」という

感じでしたね。

「生かされてもらっている
とつくづく思います」

——それから27年ほど経ちますね。もう心配はない状況ですか。

仁科 その時に初めて「死」ということを意識しましたね。でもまだ若かったですから、のどもと過ぎればじゃないけれど、忘れがちになっていました。そしたら、それから8年経った46歳の時に、今度は胃にがんが見つかり、胃の三分の一と脾臓を切除しました。けっこう大きな手術でした。8年の期間がありますから子宮頸がんとの因果関係はないと思われませんが、それが2度目のがんですね。——**がんは3度手術されていますか。**

仁科 いやいや、4度あります。

その後、55歳のときに盲腸の先にがんができて切除しました。小腸ががんを巻き込むような状態だったので、20cmも切る手術でした。それと60歳の頃の大腸がんですね。それらすべてのがんの、発見のタイミング、医師、病院との出会い……それらに恵まれて私は今、生きています、生かさせてもらっている、つくづくそう思いますね。今、孫と遊びながら、「幸せながん患者」と思っています。ハハハ。

——ところで、お母さん（松竹歌劇団で活躍した女優の月城彰子さん）の最期はどんなでしたか。

仁科 母は8年前に90歳になる直前に亡くなっています。最期は肺がんでしたけど、最後の最後まで元気でした。2カ月くらいしか入院しなかったですね。頭もシャープで、父の踊りのお弟子さんたちの名前もちゃんと覚えていました。大きな苦しみかたもなく逝きました。私どももきょうだい含めて、「無理な延命をしない」ということを言っておりましたし、最後のほうは、きょうだい交代で病

院に寝泊まりしたりもしてました。病院のみなさんには手厚く対応していただきました。

——納得のいく看取りでしたね。

仁科 最終的に点滴だけになりましたが、ただ血管がもろくなっていて吸収できない状態になり、体内に滲み出てむくんできたんです。「面変わり、様変わり」してきたので、点滴を少しずつ減らしていくことにしたんです。

——お母さんの意思もそのようでしたか。

仁科 母の意識は混濁してしましました。ただ常々「痛いのは嫌よ」と私たちに言っていましたからね。最期は眠るように。歌劇団で男役をしていましたから背も高く、毅然とした母の姿でしたね。

——そのお母さんが亡くなった翌年に、お父さん（歌舞伎役者で舞踊家の十代目岩井半四郎さん）が追うように亡くなったようですね。

仁科 父は84歳でした。母より7つも年下だったので、母に甘えていましたね。母がいないと「ママは？ママは？」といつも言っていました。

した。私たちは母よりもむしろ、父が心配でした。アルコール摂取量が多かったし、軽い脳梗塞も起こしていましたから。

——お母さんが亡くなって、がくつとなった感じてしたか？

仁科 そうでしたね。母が亡くなる前から2人とも同じ老健施設で生活していました。それで母が急にそこから入院し、2か月ほどで亡くなってしまったわけで、父は寂しかったと思います。その老健施設には、私たち子どもも孫も、交代でよく行きました。四谷にあったお稽古場もその施設の近くに移したので、お弟子さんたちも通ってくださっていました。

——幸せな最後の日々といっていますね。

仁科 直接そう聞いたわけではありませんが、幸せだったと願っています。弟は横浜で薬剤師をしています。弟ですが、それも頼りになりましたね。私も子どもたちにもあまり世話をかけないような最期でありたいな、と思います。

——4度もがんの手術をされると、

常に「がんがまた」とか死に対する思いは離れませんか？

仁科 そうですね。65歳にもなりましたし、平均余命はあと20年くらいなのでしょうが、私は「死のリスクは高い」とは常に思っていますね。ですから「終活」というんですか、エンディングノートなどは書いてますよ。そろそろまた書き変えなくちゃあ。（笑い）

「私にできることがあるなら」と引き受けました」

——仁科さんは、「子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成推進実行委員会」という長い名前の委員会の発起人になっています。

仁科 日本は予防ワクチンへの認可が遅かったですね。2009年にやっと厚生省から認可が下りて、推進できることになりました。認可はたしか12月の下旬だったので、女性にとって「クリスマスプレゼントかな」と私は思っています。若い女性の間できちんと子宮頸がんへの認識ができるようになればいいことだな、と。

——反対する人もいるんですよ。痛みや体調不良などワクチンの副作用が問題であると。

仁科 厚生省がいろんな検査・調査をした結果、ワクチンの副作用ではないことがほぼ明らかになったにもかかわらず、問題にする人もいますね。重篤な副作用の出た方にはまことに申し訳ない思いですが、そこだけクローズアップされても、という思いも正直あります。救われる方がはるかに多いんですから。

——ワクチンの副作用と、ワクチンで防げるべく死を放置しているのか、との判断ですね。この推進実行委員会への関わりは、どういう経緯からですか？

仁科 46歳ごろから各地で、子宮頸がんに関しての講演などをしており、そのなかで婦人科の先生方とお知り合いになり、私の知識も増え、発起人に誘われたんです。「私にできることがあるなら」という気持ちから引き受けました。

——東日本大震災の時のACジャパンの「マーシャルで、「子宮頸

がん予防ワクチンキャンペーン」がずいぶん多く流れましたよね。

仁科 あれはボランティアでさせていただいていましたが、あの未曾有の大震災のなかで、私もびっくりするくらいマーシャルが大

量に流れました。金子みすゞさんの詩もそうでしたね。でも、あれでずいぶん予防ワクチンの必要性が広まり、婦人科の検診率が上がったと聞いています。でもまた下がってきているそうですよ。

終活としてエンディングノートは書いてますよ

「精神的なケアのできる看護師さんが必要かと」

——いったん芸能界から離れていましたが、47歳で芸能界に復帰しました。その際に「明子」から「亜季子」に改名されたようですね。

仁科 母が姓名判断をしてもらって、また将来、病気になるたら困るといので「亜季子」に改名しました。「アキコ」と音は同じな

ので、違和感はなかったですね。

——そうですね、改名にはお母さんの思いが込もってるんですね。話は変わりますが、いま、テレビなどで「ピーターさんが初恋」との発言がちよつとした話題になっていますが……。

仁科 ハハハ。そうなんですよ。幼馴染というか。もともと父同士が踊りを通じた知り合いで、小さい時に遊んでたんです。私が一つ年下です。その後、ピーターさん一家は鹿児島に越してしまっただけですが、高校生のころでしたか、ピーターさんがデビューし、浅草の国際劇場だったかに父に連れられて行ったのを覚えています。一目惚れでしたかね。ハハハ。

——意外な関係ですね。ところで、最後になりますが、うちの尊厳死協会の会員に向けてお願いします。

仁科 私の場合、死を強く意識し出したのは38歳で子宮頸がんになった時ですが、その当時、8歳と6歳だった子供たちを置いて……とは考えられなかった。「何とか



にしな・あきこ

1953年、東京都生まれ。女優。本名は仁科章子。1972年にNHKのテレビドラマ「白鳥の歌なんか聞えない」で芸能界デビュー。仁科明子の芸名で、お嬢様女優として高い人気を得た。1974年にエランドール新人賞。1979年に俳優・松方弘樹と結婚し芸能界を引退。1男1女をもうける。1991年に子宮頸がんを発病し摘出手術。1998年の離婚を期に芸能界に復帰。「亜季子」に改名。映画「宮本武蔵」、NHK大河ドラマ「勝海舟」、「大都会」など多数に出演。

私の希望表明書

私は、協会発行の「リビング・ウイル（終末期医療における事前指示書）」で、延命措置を受けたくないという意思をすでに表明しています。それに加えて、人生の最終段階を迎えた時に備え、私の思いや具体的な医療に対する要望をこの文書にしました。自分らしい最期を生きるための「私の希望」です。

記入日 年 月 日 本人署名

希望する項目にチェックを入れました。

1. 最期を過ごしたい場所（一つだけ印をつけてください）

- 自宅 病院 介護施設 分からない
その他（ ）

2. 私が大切にしたいこと（複数に印をつけても構いません）

- できる限り自立した生活をする 大切な人との時間を十分に持つこと
弱った姿を他人に見せたくない 食事や排泄が自力でできること
静かな環境で過ごすこと 回復の可能性があればあらゆる措置を受けたい
その他（ ）

※以下「3」と「4」は、「ただ単に死期を引き延ばすためだけの延命措置はお断りします」という表現では伝えきれない希望や、「止めてほしい延命措置」の具体的な中身を明確にするためのものです。

3. 自分で食べることができなくなり、医師より回復不能と判断された時の栄養手段で希望すること（複数に印をつけても、迷うときはつけなくてもよいです。）

- 経鼻チューブ栄養 中心静脈栄養 胃ろう 点滴による水分補給
口から入るものを食べる分だけ食べさせてもらう

4. 医師が回復不能と判断した時、私がして欲しくないこと（複数に印をつけても、迷うときはつけなくてもよいです。）

- 心肺蘇生 人工呼吸器 気管切開 人工透析 酸素吸入
輸血 昇圧剤や強心剤 抗生物質 抗がん剤 点滴

5. その他の希望

【用語の説明】

●**心肺蘇生**：心臓マッサージ、気管挿管（口や鼻から気管に管を入れる）、電気的除細動、人工呼吸器の装着、昇圧剤の投与などの医療行為。

●**人工呼吸器**：自力で十分な呼吸ができない状態の時に、肺に機械ポンプで空気や酸素を送り込む機器。マスク装着のみで行う場合もあるが、重症の際はチューブを口や鼻から入れる気管挿管を行う。1～2週間以上続ける場合は、のどに穴を開ける気管切開（喉仏の下から直接気管に管を入れる）をしてチューブを入れる。

●**胃ろうによる栄養補給**：内視鏡を使い、局所麻酔で胃に管を通す手術を行う。その管を通して栄養を胃に直接注入すること。

キリトリ

「元気、陽気、やる気、強気、勇気、そして根気の6気」を

患者は発病した時からトータルなケアを求め、これからは、それをしてくださるところが「緩和ケア」ではないかと思っています。

仁科さんにとって、精神的なケアでもっとも身近だったのは、なただでしたか？

10年」と、先生の白衣につかみかからんばかりにお願いしたのを覚えていてます。いま実感として思います。これからは尊厳死協会も勧めている「最期の迎えかたの意思表示」ができる時代になってきたのではないのでしょうか。緩和ケアに関しても、近年、みなさんの意識に定着してきていると思います。患者は日々、不安で折れそうな精神状態だと思っんですね。外科的にも内科的にも薬学的にも治療は必要ですが、何よりも精神的なケアを兼ね備えていないといけないと思います。

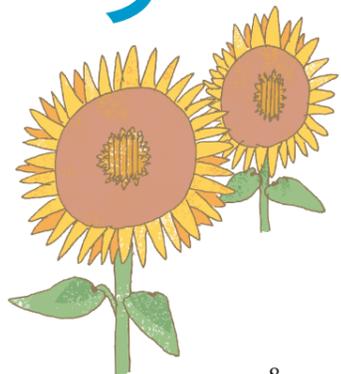
私は講演などでいつも「5つの気」の話をするんです。元気、陽気、やる気、強気、勇気の5気。「寝たきりの10年より元気な2年がいかな」と思います。陽気は笑うこと。ナチュラルキラー細胞も増えます。やる気は積極的に一歩前に踏み出すことです。強気も大事で



す。弱気になるとがん細胞に負けそうになりますから。最後は勇気。手術なども勇気をもって選択すること。これも大事です。最近、ちよつと年をとってきたので、もう一つ付け加えたい気持ちです。それは、根気。これが無くなってきたのはだめなので、一つ足しました。なるほど「6つの気」ですね。これを胸深くにもって今後とも活躍ください。今日はありがとうございました。

インタビューを終えて
4度もがんの手術を受けてきた仁科さんの言葉には強い説得力がありました。日々、不安で折れそうになる患者の精神状態に対し必要なものは、治療とともに精神的なケアではないかと。「そんなケアのできる看護師さんがいてくれたらいいな」とつぶやくように話されました。
会報編集部・郡司武

LWを作成する大切さ、理解を広めよう



一般財団法人日本尊厳死協会の2018年度事業計画および収支予算などが3月24日開かれた理事会で決まりました。2017年度決算案は6月23日開かれる評議員会で審議されます。

岩尾理事長は「LWに賛成しながら実際に作成済みの人が少ない社会環境のなかで、LW作成の必要性を説く活動がいつそう大切になる。新年度は具体策で取り組みたい」と理事会で述べました。

会員数の現況

17年度末の会員数は11万160人で1年間に約2200人の減。ここ数年続いた大きな会員減少傾向は緩やかになりました。

高齢会員が多い（75歳以上会員が70％）状況から死亡、会費3年未納などによる退会者が約

8500人（前年比千人減）に対し、新入会は約6300人（同千人増）でした。

18年度の事業計画

協会は複雑になる社会のなかで『リビング・ウィル』が実効性を高められるよう署名立会人、代諾者指定欄を新設、更にLWを補完する『私の希望表明書』を発行しました。今年度はこれらを含めて「LW作成の必要性」に理解を得る活動を展開します。

そのため、LW作成を丁寧に説明する『ガイドダンス動画（DVD）』を作製することになり、準備を進めています。近年、LW作成には医療関係者との繰り返し話し合い（ACP IIアドバンス・ケア・プランニング）が強調されています。ACPの精神を採り入れたものにする計画です。

このDVDは協会ホームページで自由に閲覧できるようにします。また、地域に根ざした普及活動で8支部が開く講演会、セミナー、出前講座（約300回開催予定）で活用するほか、諸学校に提

日本尊厳死協会の決算・予算書（要約）

単位：円 △はマイナス

科目	2017年度予算	2017年度決算(案)	2018年度予算
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	143,488,000	156,182,000	145,014,000
受取寄付金	6,212,000	4,255,177	5,280,000
その他収益	2,592,000	2,477,880	1,950,000
経常収益計	152,292,000	162,915,057	152,244,000
(2) 経常費用			
事業費	142,685,403	141,381,182	151,823,528
管理費	29,145,000	29,234,485	28,295,000
経常費用計	171,830,403	170,615,667	180,118,528
当期経常増減額	△ 19,538,403	△ 7,700,610	△ 27,874,528
2. 経常外増減の部			
当期一般正味財産増減額	△ 19,538,403	△ 7,700,610	△ 27,874,528
一般正味財産期首残高	631,751,183	631,751,183	624,050,573
一般正味財産期末残高	612,212,780	624,050,573	596,176,045
II 指定正味財産増減の部			
① 特定資産運用益	1,000	37	1,000
② 一般正味財産への振替額	△ 812,000	△ 812,160	0
当期指定正味財産増減額	△ 811,000	△ 812,123	1,000
指定正味財産期首残高	5,105,379	5,105,379	4,293,256
指定正味財産期末残高	4,294,379	4,293,256	4,294,256
III 正味財産期末残高	616,507,159	628,343,829	600,470,301

供して教材として使えることも考えています。

LW受容協力医師については増員運動に取り組み、現在1900人と1年間で300人近く増えました。今年度は500人増を目指しています。LW協力医は会員が頼りにする存在ですが、協会の日常活動への参加など協会との接点を深め関係強化を図ります。

組織の問題では、「北陸支部の東海支部への統合」（別掲）があります。地域に密着した支部活動を展開するには、県単位の活動拠点の充実も検討課題になります。

18年度予算

会費収入は1億4501万円と前年度予算を上回るペース。会員減少傾向のなかでも、夫婦会員制度廃止による個人入会、あるいは終身会員増により増収を見込みました。経常収入1億5224万円に対し、経常費1億8012万円を計上、2787万円の赤字予算を編成です。

経費の支出抑制では、会報のメール送信を7月から実施します、経常費の25%を占める会報の印刷・発行費の節減が期待できます。

昨年度から実施した「Web入会」が広がれば、関係事務経費の節減につながります。

17年度決算(案)

約2千万円の赤字予算編成です。ターゲットしましたが、赤字は770万円に圧縮できました。会費の向こう何年分の前払いの増加で「前受金」収入が増えたのと経費節減があったためです。

前受金は今後も増えることが予測されますので、来年度からは次年以降分は当該年度の収入とします。

北陸支部が東海支部へ統廃合 7月から「東海北陸支部」



協会は6月7日開いた理事会で、北陸支部の東海支部への統廃合（7月1日付）を決めました。東海支部の新名称は「東海北陸支部」（小林司支部長）です。

北陸支部は1994年、東海支部から北陸3県（石川、富山、福井）が独立する形で発足し、活発な地域活動を展開してきました。

しかし、今春、支部長が健康上の理由で退任したのに加え、支部事務所の契約更新が難しいという問題が起きました。北陸支部理事会は支部運営の継続が難しいと判断、同じ中部エリアにある「東海支部への統合」を要請していました。

東海北陸支部は7県管轄となり、旧北陸支部の会員1624人を加え1万536人となります。北陸支部は発展的に解消しますが、新しい活動にご期待ください。

— キュブラー・ロスのワークショップに参加して —

胸の奥が強く揺さぶられるような表現しがたい感情に

2泊3日のワークショップは、自分の内なる声を、言葉と体で激しく表現するものでした。最初は戸惑い、疲れさえ感じましたが、最後は、身体から力が抜けたような何とも心地よい虚脱感を感じました。これは、その経緯と報告です。 日本尊厳死協会電話相談員・平林池保子

キュブラー・ロスのワークショップとは

アメリカの精神科医で『死ぬ瞬間』や『ライフレッスン』などの著書で知られるエリザベス・キュブラー・ロス博士（1926～2004年）が始めたワークショップ（体験型講座）。彼女はホスピスの創始者でもあり、LDTワークショップを世界に広めた。Lは生（Life）、Dは死（Death）、Tは超越（Transition）の頭文字。死に直面する人ばかりでなく、その家族、最愛の人を失った人、その他さまざまな原因で心に深い傷を受けて立ち直れない人へのメンタルサポートを行う。

●問い合わせ先 ☎070-5041-9186、佐橋啓空

日本LDTワークショップ実行

委員会が主催する「第43回キュブラー・ロスのワークショップ」に参加しました。参加者は8人、参加者を支援する実行委員会のスタッフが11人。埼玉県の国立女性教育会館の本館から少し離れた閑静な茶室で、5月の大型連休の2泊3日、次のようなプログラムで行われました。

爆発する感情をゴム製のパイプで激しく打ちつける

【1日目】

グループワークを進めるための

オリエンテーションで、まず次のようなことが説明された。①ふだん棚上げしてきた心の問題の掘り起こし、②自分自身の解放と再生、③次のステップへの進行。留意点として、ディスカッションの場ではないので①ワーク者の話を遮らない、②否定しない、③同意を求めない、④質問しない、など。

心の動きを知る自己作業として、参加者それぞれが自分を取り巻く人々との人間関係、とりわけ強い感情（怒り、悲しみ、憎しみ、許しがたいなど）を持つ人に対して、解決していかなければと思ってい

ることを、取り上げた。

【2日目】

グループワークの実際。和室に作業場として、安全確保のマット代わりに敷布団を一枚敷き、その真ん中に座った参加者の正面に電帳を積み重ねた設定でなされた。参加者の一人が布団の中央に座り、ファシリテーター（作業進行促進者）を中心に、他の参加者と支援スタッフが輪になって作業を見守る。

前日の自己作業をもとに怒りや悲しみ、苦しみを語り、爆発する感情をゴムパイプで「電話帳」に

【3日目】

キュブラー・ロス博士についてと、活動の歴史、グループワークで目指したものについて、主催者から講義がなされた。

最後に、新しい出発のセレモニーが行われ、「この場に捨ててい

くものと持ち帰るもの」を一人一人が言葉にして表現した。

悪口ばかり言う母を「許す許せない」の葛藤

ここで参加者の具体的なケースをいくつか紹介します。

Aさん 尊敬し愛していた母親を半年前に亡くし、その喪失感でいっぱい。「慣れ親しんだところで最期を迎えたい」との母親の気持ちを知りながら叶えてあげられな

かった後悔で眠れない日々。

Bさん 子どものころから、母親から他人の悪口ばかり聞かされ嫌だった。成人し母とは距離を置いてきたが、年老いたことで同居。しかし悪口は変わらず。聞くのが嫌で、母が寝てから自宅に帰る生活。そんな母でも許したい気持ちにかした。

Cさん 離婚し、息子を一人で育てているが、別れた夫が再婚したと息子を通して知った。自分一人で子育てを頑張っているのに、何もしないで再婚した夫が許せない。私も幸せになりたい。

電話相談者の気持ちに自分を置き換えて……

当初、グループワークは穏やかに進むものと思っていましたが、実際は自分の内なる声を言葉と体で激しく表現するものでした。最初は、ワークする人の表情や動作に戸惑い、容易に受け入れられず、その場にいることに疲れさえ感じました。しかし体験してみると、胸の奥の部分が強く揺さぶられる

激しく打ちつける。スタッフと他の参加者は、その思いを共有し、共感する言葉をかけ、体験者は「無条件に受容されている感覚」を味わう。最後にみんなでハグし合い、輪になって、心と心をつなぎ合うという意味の歌を歌い、「心の無条件受容」を得るといふ感覚を共有し合う。この作業を、参加者全員が繰り返し行う。

2日目の終わりは大事な「癒しの時間」。心から笑い合える楽しいイベントがあり、それによって心が温かくなり、癒し合える時間をもつ。

ような何とも表現しがたい感情が湧き出てくるような感覚になりました。ハードな作業でしたが、そのあと、身体から力が抜けたような心地よい虚脱感を感じました。

尊厳死協会の電話相談では、病んでいる病気の相談はもとより、終末期医療の選択は本人の意思に反しているのではないかと、認知症の親との接し方、医療職への不信・不満などさまざまなことが語られます。電話を通して、辛い思いや息遣いが伝わってきます。今回のワークショップでは、心の奥にある声に耳を傾け聴くことが最初の作業でした。電話相談においても、相談者の心の内に耳を傾け聴くことで問題解決の糸口が見えてくることを実感してはいましたが、自分のこととして置き換えると、容易なことではありませんでした。ワークショップでは、相手を認め受け入れ、お互いに助け合うことで心が解放されていくことも実感できました。この体験を生かしながら、相談してよかったと思ってもらえるような電話医療相談にしていきたいと思いました。



ワークショップが行われた茶室。新緑と小鳥のさえずりに包まれていた



死者の魂が蝶になって飛び立つさまをデザインしたシンボルマーク

会報メール配信開始のお知らせ

会報「リビング・ウイル」を メールマガジンとしてお送りします

入会ご希望の方にお送りしております「入会のご案内」の中に、「リビング・ウイル—Living Will—終末期医療における事前指示書—」があります。その記入欄に、「氏名」「住所」とともに、2017年7月改訂版からメールアドレスをお書きいただく欄を設けました。

お書きいただく方はまだ少なく、入会者の3割ほどにとどまっていますが、それでもメールアドレスの登録は1700件を超えました。その際に予告しておりました「会報のメールマガジン配信」を、会報7月号（6月25日配信）から開始いたします。現会員の方で希望される方は、日本尊厳死協会のHP（ホームページ）からアクセスして、メールアドレスの登録をお願いします。現会員の方には10月号からメールマガジンも配信します。

発行の目的

会員が必要とする情報を逐次配信する連絡ツールとしても活用します

登録のメリット

協会から送られる情報を共有し、会報をいち早く読むことができます

発行日と頻度

会報は1月、4月、7月、10月の各1日発行の年4回ですが、メールマガジンは前月の25日に配信します

料金

無料

会報をいち早く
読むことができます



LW受容協力医師制度の展望

ルポ——磐梯山麓で「安らかな最期」「満足死」を！

今田かおる医師の在宅支援の日々
生まれ育った磐梯山麓で、27年間、在宅診療を続けている今田かおる医師。55歳。未曾有の東日本大震災を乗り越えての、多方面の活動をルポする。

会津磐梯山と猪苗代湖にはさまれた、のびやかな田園風景の広がる福島県猪苗代町に小川医院・在宅支援診療所がある。62歳で心筋梗塞により急死した父の医院を、

医師の母（現在は理事長）が継ぎ、のちに弟（主に整形外科）が院長となり、姉の今田医師が支える。勤務医の夫も、ときに手伝うというまさに医師一家だ。看護師は、外来・訪看を合わせて8人という陣容。

外来は週に4日。水曜日だけ朝から夕方までの一日を訪問診療にあてる。「一日に15人くらい診て回りますかね。外来で診ていた高齢者の患者さんを自宅まで最期まで

看取るといふのを基本にしています」。80床ある特養やグループホームなどにも、呼ばれたら行くという。

原発事故から逃れた 避難民で外来は溢れた

平成3年に在宅診療を始めてから27年。これまで540人ほどを看取ってきた。うち在宅での看取りは283人。「在宅看取りは全国平均が2割にも満たない状況ですから、52%という数字は、まあ頑張ってきたかなあと考えています」と今田医師。

7年前、そんな地域の外来と訪問診療の平穏な日常を、激震が



「こちらが小川医院です」と手をかざす今田医師

襲った。2011年3月11日の東日本大震災である。浪江町や双葉町など原発事故の地から逃れてきた人たちが、近くの体育館に400人、スキー客や観光客相手のホテルや民宿にも殺到した。それまで一日100人近くを診ていた小川医院の外来は、突然、倍以上の200人もの患者であふれ返ったのだった。

町に1台あったガイガーカウンタを借りて線量を測る。「誰が測っても針が振り切れてしまっただけ。自分も看護師さんたちもパニックになってしまいました」。上着を脱いでもらって、やっと



公開講演会前に行われた日本尊厳死協会東北支部の理事会で(左端)

振り切れずに測れた。仕方ないで診療所の中には入れないようになり、玄関に机を出して問診・診察した。さながら戦場のようだったという。3人の子どもたち(現在、上の2人は医師と医学生)は、母の実家がある京都に避難させたという。「そうしたら、なんか自分もやっと落ち着いた感じがしましたね」と当時を振り返る。

外来の合間をみて、体育館にも診療に向いた。「体育館ではトイレまでが遠いのでおしっこに行くのを考えて水を我慢してね、コタコタになっていた高齢者も診ました。病院に連れ帰って点滴しました」。また、おにぎりやパンだけの毎日をなんとかしようと、町の調理実習室を借りて、トン汁やハンバーグを作ったりもした。「震災の時は、医療より食べ物が大事なんだなあ」と教えられた思い出があったという。

臨床仏教師とも連携し 地域包括ケアネットを

そして今また、磐梯山麓におだやかな日々が戻った。町の人口は

りするとね、この家は看取るときにだけ医者に居てもらえばいいのかな、なんて思ったりもします。皆さんも、居間のそばに寝かせてもらえるような人になるように、これから生きていかなきゃありません。いいですかね」

会報編集部 郡司武

「居間のそばに寝かせて もらえるような人にね」

その今田会長は、温かみのある福島弁で、聴衆にこう語りかけていた。

「訪問診療に行くとな、家族関係などがよーくわかるんです。病気を診ると同時に、その人を診に行く。玄関のそばの居間のわきに寝させていただいている方は、ああ、家族に大事にされているんだなあ、とわかる。奥の奥の布団部屋のわきみみたいところにポツンと寝かされていたりするのを見た



公開講演会には「最期をどう迎えるか」に関心の濃い聴衆が多く参加した



仙台での公開講演会ではやさしく語りかけるように話した

少し減って1万5000人ほど。震災後に変わったことといえば、入院を受け入れなくなったこと。在宅看取り以外は、特養など施設に赴いての看取りとなる。

今田医師はこのところ、安らかな最期いわゆる「満足死」を目指している。「例えば「脱水」ですけどね。以前は点滴で看取りましたが、今は「脱水」で看取ります。そのほうが「満足死」になる。水と200ccの栄養剤だけ。だるくもつら辛くもないとみなさん言いますね。点滴ですと、むくみすぎし腹水も胸水もたまりすぎます。生存率も点滴と「脱水」であまり変わ

らない、というデータもあります」とこれまでの経験を話す。

今田医師の活動の幅は広く、小川医院の他にも「マリアクリニック」の院長を務め、老健施設「ケアテル猪苗代」や訪問看護ステーション「敬愛」も立ち上げた。まさに磐梯山麓の終末期の医療や介護を多方面から担っているといっている。2014年には日本尊厳死協会の受容協力医師にもなっている。

5月中旬、仙台で「在宅緩和ケアと地域連携—磐梯山麓からの報告」と題する公開講演会があった。今田医師は、「満足死」を目指し

0120-979-672

月・水・金曜日
午後1時～5時
(変更あり)

医療相談
(通話無料)

お電話お待ちしております。ご遠慮なく、どうぞ！

病気や気になる症状、特に終末期にかかわる不安や悩みについて、相談員(看護師)が丁寧に聴きし、皆さま自身が主体的に考えて解決できるように支援しています。

医療相談は、協会が最も重視している会員向けの無料サービスですが、一般の方でもご利用いただけます。会員・未会員は確認させていただきます。お電話をお待ちしています。

協会宛メール(info@songenshi-kyokai.com)でも受けつけております。

季節を感じさせる1枚の写真と
懐かしい唱歌でつづるページです

四季の歌

— その風景と背景 —

第五回

夏は来ぬ ● 佐佐木信綱



うの花はなのおう垣根かきねに、
時鳥ほととぎす 早はやもきなきで、
忍音しのびねもらす 夏なつは来ぬ。

さみだれのそそぐ山田やまだに、
早乙女さおとめが 裳裾もすそぬらして、
玉苗たまなえうる 夏は来ぬ。

橘たちばなのかおるのきばの
窓近まじちかく 蛍ほたるとびかい、
おこたり諫いひなむる 夏は来ぬ。

棟おちちる川かわべの宿やど
門遠かどとおく、水鶏くいなこえ声して、
夕月ゆうづきすずしき 夏は来ぬ。

さつきやみ、蛍ほたるとびかい、
水鶏くいななき、卵うの花はなさきて、
早苗さなえうえわたす 夏は来ぬ。

(『新編教育唱歌集(五)』明29・5)より

『新編教育唱歌集』は全八集。全部で247曲収録されているが、前に他の唱歌集に出ていた曲の再録も多い。この中に収録されている歌では「港」(空も港も夜は暗れて)と、「夏は来ぬ」がよく知られる。作詞・佐佐木信綱(1872~1963年)、作曲・小山作之助(1864~1927年)。佐佐木は歌人として高名だが、新潟・上越出身の小山も音楽教育に尽くし、日本教育音楽協会の初代会長を務めている。東京音楽学校時代の教え子には滝廉太郎もいて、滝にドイツ留学を勧めたとされる。

卵の花、時鳥、早乙女、蛍、水鶏……、軽やかなこの曲に乗って、明るい初夏を彩る情景が脳裏に浮かんでくる。「棟」とは梅櫃のこと。「夏は来ぬ」の「ぬ」は完了の助動詞で「夏は来た」。現在、小山の出身地の北陸新幹線上越妙高駅の発車メロディーとして使われている。

LWのひろば

二枚の写真

山田良子 91歳 愛媛県

2年前の4月、一卵性双生児のようによく似ていた妹が、リンパがん
で旅立ちました。88歳でした。順不
同の訣れは諦めきれません。今は、妹
がベッドに残し涙をぬぐったであろ
う花柄のハンカチを枕元に置いてい
ます。

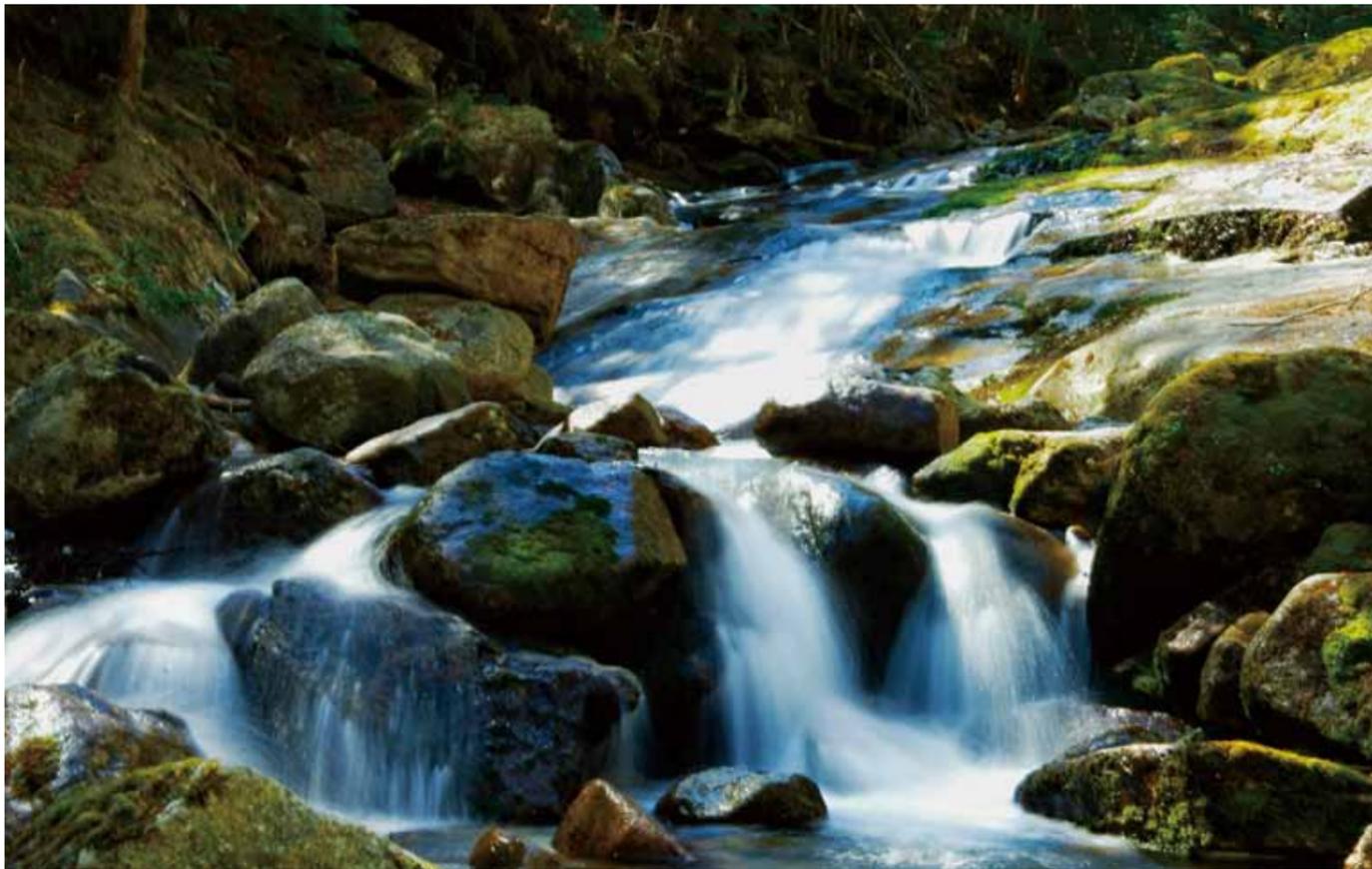
それを握ると、不思議とすぐに眠
れるのです。

「お母さんが昏睡に陥った」との甥
の電話に、取るものも取りあえずの
支度中、浮かんだのは60年ほど前の

妹の結婚写真でした。新郎新婦と両
家の集合写真を持ち、妹の住む静岡
県沼津へと向かいました。

深い眠りの妹の頬に写真を当て、
「あなたの結婚式よ。正雄さん（亡
き夫）ステキ」「お父さん、お母さ
んも写真のここにいるのよ」と何度
も呼びかけました。3時間ほどして
妹の顔が緩みます。頬を撫で耳を引
つ張ります。するとしばらくして目
が動き、名前を呼ぶと、うつすらと
笑ったような目が涙ぐみました。奇
跡が起こった瞬間でした。

意識が戻った妹がいちばん先に指
さしたのは、38年前に亡くなった夫



涼気駆け下る
甲武信岳の北麓を
流れる千曲川の溪流
撮影/T.Kさん

それがいつ頃からか、どんな手段
を講じてでも長生きすることこそが、
人生最大かつ至高の宝だと奉じる妙
な世の中になりました。それと並行
して自殺を極端に嫌い蔑むというの
が今や、常識になっている感があり

でした。
彼岸と此岸は、こうして現世でつ
ながることの感動を、私は妹夫婦に
教えられました。妹はその後退院し、
半年ほど沼津の山麓のホームで過ご
して逝きました。

ひとつづつ

儀式のごとく三周忌

これが出会いと気付く此頃

良子

西部邁氏の死に思う

掛川 淳 87歳 兵庫県

今年の1月21日、著名な評論家の
西部邁氏が多摩川で水死体として発
見されました。西部氏は脊髄の歪み
が原因で末梢神経痛を病んでおられ
対談で「病院で亡くなるのは、人工
の死。だから選びたくない。おのれ
の最期を他人に命令されたり弄り回
されたくない」と言っておられたそ
うです。

残されたメモから自殺と判断され
ましたが、死体に工事用ハーネスが
取り付けられていたので他殺の疑い
で捜査され、知人2人が自殺ほう助

ます。

医学の進歩とやらの幻惑された現
代社会の歪んだ風潮というか一種の
病ではないでしょうか。もはや食事
も果たせず下の締めりも無くなって、
明らかに終末期に至っているのなら
生きるに執着することなく、自然の
ものは自然に還すという周りの者の
覚悟と潔さ、そして何よりも当人の
決断こそが貴重なのではないかと私は
思います。

親として真に子どもたちへの安寧
を願うなら、子が抱えてしまう介護
の負担と心痛を思い、むしろ早く逝
くの潔しとすることこそ、子たち
への善き遺産となるのではないかと
私は思っています。

北方さんの言葉が心に

小林美智代 84歳 埼玉県

LW169号の巻頭インタビュー
は作家の北方謙三さんでした。その
中の「きちんと生きればちゃんと死
ねる」という言葉が「ああ、いいな
あ」と心にしみました。

先日、友人が「尊厳死協会に入ら
うと思うんだけど」と言ってきたの
で、私は以前送っていた会報

の疑いで逮捕されました。氏の長女
も「飲みに行くことを止めなかった
私も同罪である」と述べていますが、
西部氏の前夜からの行動は、ご自身
で立案され、氏の心情を熟知してい
た周囲の理解のもとに実行されたの
だと思えます。西部氏のような分別
も教養もある人物が自殺という選択
をするのも尊厳死ではないでしょう
か。

西部氏は被害者でもないし2人の
知人も加害者とは言えないと思いま
す。むしろ罪に問われることも辞せ
ずに西部氏の願望に沿う行動をとっ
たことに感動すら覚えるのは、私だ
けでしょうか。

「自殺」と「自殺」

坂本 勲 81歳 兵庫県

自殺―その昔、名だたる武将が重
大な病にかかったとき、まだ意思表
示ができる間に遺書を認め、残すべ
きを伝えて、あとはだんだんに食を
断ち、お迎えを待つ潔さをもってい
ました。周りもまた、それを決して
自殺などとして蔑んだりせず、むし
ろ「武士の鏡」として尊敬したくら
いのものでした。

を一冊送りました。送り終えて、あ
らためて尊厳死協会に入っていると
いう安心感をもって、充実した晩年
の日々を送っていかうと心に決めま
した。

そしてこのお彼岸に、私に入会を
勧め、すぐに手続きをしてくださっ
たドクターの講演会を聴くため、都
内に出かけました。「人は死んだら
どうなるのか―医学と科学で考える
死後世界の真実―」というテーマで
した。死にたいのに死ねない…心に
グサツとききました。

編集部より

● 投稿の募集 テーマは「私の入会動機」「一人暮らしの日々」など何でもけっこうです。600字以内で。掲載(写真含む)の方には図書カードを差し上げます。手紙またはファクス(03-3818-6562)、メール(info@songenshi-kyokai.com)で。

● 写真の募集 10月号に相応しい写真を。数年前の撮影も可。データをメール送信(アドレスは同上)、またはプリントを郵送してください。いずれも、協会本部会報編集部宛に、「ひろば投稿」と明記のこと。締め切りは8月15日です。

関東甲信越支部 ☎ 03-5689-2100 ✉ kantou@songenshi-kyokai.com

公開講演会 in 船橋

日程◎7月14日(土)午後1時半～4時半
会場◎船橋市中央公民館 6階講堂
船橋市本町2-2-5

講演1「安らかな看取りを求めて」
講師◎岩尾總一郎 日本尊厳死協会理事長

講演2「在宅看取りについて」
講師◎久野慎一氏
医師、医療法人弘仁会
板倉病院訪問診療部

定員◎270人 入場無料
(申込不要・先着順)



《地域サロン》のお知らせ

お茶を飲みながらお話しする集いです

| サロン in 市川

日程◎7月9日(月)午後1時半～午後3時半
会場◎市川市文化会館3階 第3会議室 市川市
大和田1-1-5 JR/都営地下鉄/京成
線 本八幡駅南口下車 徒歩8～10分
入場無料、申込不要、先着順です(定員38人)

| サロン in 池袋

日程◎7月31日(火)午後1時半～3時半
会場◎IKE・Biz / としま産業振興プラザ5階 第
1会議室 豊島区西池袋2-37-4 JR山
手線池袋駅西口下車 徒歩7分
入場無料、申込不要、先着順です(定員22人)

| サロン in 蒲田

日程◎9月10日(月)午後2時～4時
会場◎大田区産業プラザ(Pio)6階E会議室 大
田区南蒲田1-20-20 京急蒲田駅徒歩3分
入場無料、申込不要、先着順です(定員24人)

| サロン in 本郷

こちらは関東甲信越支部まで電話予約が必要です

日程◎7月13日(金)28日(土)
9月14日(金)29日(土)
いずれも午後1時半～3時

会場◎支部事務所/地下鉄丸ノ内線か大江戸線本
郷三丁目下車すぐです。文京区本郷
2-27-8 太陽館ビル5F(わかりにくけ
れば支部まで電話下さい)

北海道支部 ☎ 011-736-0290 ✉ hokkaido@songenshi-kyokai.com

**第9回 北海道在宅医療推進
フォーラム**

日程◎10月6日(土)午後1時半～4時半
会場◎札幌医師会館5階大ホール
(札幌市中央区大通西10-1-1)

第1部 基調講演
「みんなで死について考えてみませんか」
講師◎金田諦晃さん 東北大学病院緩和医療科臨
床宗教師、築館通大寺住職

第2部 シンポジウム
「様々な現場からの報告」
一般病棟から、自宅から、施設から、救急救命室か
らシンポジストとフロアで「死について語る」
定員◎650人
問い合わせは支部事務局まで
共催◎北海道在宅医療推進フォーラム

| 帯広とかち定期講演会

日程◎10月6日(土)午後1時半～4時
会場◎とかちプラザ 会議室
帯広市西4条南13丁目1 (JR帯広駅南口正面)

講演◎「葬儀についての相談と
エンディングノートについて(仮)」
定員◎80人(予約不要)

| 函館地区懇話会研修会

日程◎9月13日(木)午後1時半～
会場◎函館市総合福祉センター 4階会議室
テーマ未定、問い合わせは支部事務局まで

| おしゃべり広場

日程◎7月17日(火)、8月21日(火)、
9月18日(火)いずれも午前10時～正午
会場◎札幌エルプラザの研修室、会議室
(JR札幌駅北口近く)
定員◎いずれも20人(予約不要)

東北支部 ☎ 022-217-0081 ✉ tohoku@songenshi-kyokai.com

第22回 東北支部 盛岡大会

テーマ「**変わってきています
— 緩和医療 —**」

緩和医療は、患者や家族の苦痛を和らげ、希望を
持ってもらうため、より早い段階から医療側がチ
ームを組んで総合的サポートで支えるように変
わってきました。「緩和医療の今」「患者が納得す
る医療」について、さらに掘り下げていきます。

日程◎9月16日(日)午後1時半～4時
会場◎「アイーナ7階小田島組☆ほーる」
盛岡市のJR盛岡駅西口 徒歩3分

挨拶◎橋村 襄支部長「尊厳死 最近の動向」
総合司会◎池田 健氏 池田歯科医院院長、東
北支部理事

第1部 基調講演

「納得の医療へ
— 緩和チームの役割」

講師◎木村祐輔氏
岩手医科大学緩和医療学科特任教授



第2部 パネルディスカッション

座長・司会◎齊藤和好氏 岩手リハビリテーシ
ョン学院長、岩手医大名誉教授、東北支部理事

パネリスト◎
旭 博史氏 盛岡赤十字病院・緩和ケア科
長澤昌子氏 岩手医大 高度看護研修センター主任教員
川村美奈子氏 盛岡赤十字病院 総合患者支援センター保健師
木村祐輔氏 岩手医大 緩和医療学科特任教授

どなたでも参加できます。入場無料
問い合わせは、東北支部事務局(阿見)、あるい
は岩手支部理事(河辺) 090-4880-1240まで
後援◎岩手県医師会、盛岡市医師会、
岩手日報社、IBC岩手放送

**第29回「仙台駅横
リビング・ウィル 交流サロン」**

テーマ「鎮静の実際
— 日本LW研究会での議論を受けて」

日程◎7月13日(金)午後2時～3時半
会場◎「せんだいアエル」6階特別会議室
(JR仙台駅西口 徒歩3分)

お誘い合っ、どなたでもどうぞ。参加費無料

東海北陸支部 ☎ 052-481-6501 ✉ tokai@songenshi-kyokai.com

**リビングウィル
懇話会 in 津**

日程◎9月9日(日)午後1時半～4時
会場◎三重県総合文化センター
定員◎84人(無料)

報告◎小林 司東海支部長「尊厳死について」

講演◎「最期まで笑顔で
生きられる街を創るために
～在宅医の考えたこと～」

講師◎良雪 雅さん
いおうじ応急クリニック院長

講演のあと意見交換

後援◎三重県医師会、公益財団法人三重県看護
協会、中日新聞社など
(日本医師会生涯教育認定講座)

| 地域サロンへどうぞ

8月から開催日を「偶数月の第4火曜日」に変更します

日程◎8月28日(火)、10月23日(火)
午後1時半～3時

会場◎名古屋市中村区の青木記念ホール
(地下鉄中村公園駅から徒歩5分)

終末期医療、在宅介護などを語り合いませんか。
希望者は支部までご連絡を。無料

| 第5回 在宅フェア2018

日程◎7月8日(日)午後1時～
会場◎四日市市文化会館第1ホール

お話し◎「在宅医からのメッセージ」
花戸貴司医師、二ノ坂保喜医師

座談会◎「在宅ケアを語る」
座長◎石賀丈士医師 パネリスト◎二ノ坂、花戸両医師
入場料◎500円(学生無料)

明日の地域医療を考える住民の会・あした葉主
催、東海支部後援

一般公開「第5回 日本リビングウイル 研究会・四国地方会」

テーマ「救命医療、延命医療、
尊厳死」

日程◎9月16日(日)午後1時半～4時
会場◎松山市総合コミュニティセンター大会議
室(松山市湊町七丁目5番地)

「延命拒否と医療拒否」、「救命と延命の違い」や
「最期の医療と救急車」などについて、医師・救
急医療・患者の介護者の方々がそれぞれの立場
から話し合います。
人生の最終段階における医療について知識を
深め、自分の望む人生を歩みましょう。市民公
開講座として無料、どなたでもお気軽にお越し
ください。

懇談会

松山市高齢クラブ連合会(第2ブロック指導者研
修会)の皆様と

日程◎7月22日(日)午前9時半～
会場◎小野公民館大会議室2階

九州支部

☎ 092-724-6008 ✉ kyushu@songenshi-kyokai.com

ふくおか講演会

日程◎7月21日午後2時～4時
会場◎天神ビル11階 11号会議室
福岡市中央区天神2丁目12番1号

講演1「緩和ケアと終末期」

講師◎松股 孝 九州支部ふくおか会長
おかがき病院医師

終活ワンコイン(500円)セミナー

日程・テーマ・講師
7月31日「高齢者施設での看取り及び各種高齢者
入所施設について」
野本浩二 特養ホーム梅の里ケアマネジャー兼相談員
8月28日「医療施設での看取り・最期の迎え方」
中城 敏 砥部病院長
9月26日「安心な老いの日を創るためにエンディ
ングノートの作成」
土居園江 ウェルエイジングくらぶ責任者
会場◎ひめぎんホール別館第15会議室(松山市)
(いずれも火曜日午後1時半から1時間)

支部サロン

喫茶去だんだん お茶とおしゃべりの会
日程◎7月1日、9月7日

趣味あれこれ会 絵手紙を楽しみましょう
日程◎7月20日、9月21日

サロンはいつでも金曜日、午後1時半～3時半、支
部事務所(松山市)で

「辞世の句」一般公募

俳句・短歌・川柳など辞世の句を募集しています。
記載要領は自由で、郵便、Fax(089-993-6357)
かメール支部まで。優秀作品は9月に俳都松山市
で開催するLW研究会四国地方会で発表します。

講演2「社会福祉施設を拠点とした
多世代共生社会を目指して」

講師◎権頭 喜美恵さん
社会福祉法人もやい聖友会理事長
九州支部ふくおか役員

両講演後、質疑応答もあります

定員◎120人(無料、予約の必要はありません)
問い合わせ◎支部事務局まで

地域の
みなさんへ

リビング・ウイル「出前講座」はいかがですか

●ご依頼により講師を派遣します ●会場のご用意をお願いします ●お問い合わせは支部までどうぞ

市民公開講演会 in 和歌山

日程◎9月29日(土)午後1時半～4時
会場◎和歌山県民会館小ホール(和歌山市)

テーマ「元気に長生きし、
安らかに死ぬために
～大腸がんになった医者の話～」

講師◎林 靖二氏 元国立南和歌山病院長
定員◎300人、無料
申込方法◎FAX 06-4866-6375、Eメール、ハ
ガキで、氏名、住所、電話番号、会員・非会員を
記入して支部事務所まで。支部HPからも申込
みできます。

定例サロンへのお誘い

日程◎毎月第2、4火曜日午後1時半～4時
7月10日、24日、
8月28日(8月は1回)、
9月11日、25日

関西支部「おおさか」立ち上げ 市民公開講座

日程◎8月11日(土・祝)午後2時～
会場◎耳原総合病院 みみはらホール
(堺市堺区協和町4丁465)

基調講演「平穏死できない現実」

講師◎長尾和宏 協会副理事長

パネルディスカッション◎多職種による「幸せに
人生を送るための課題と解決策」

無料。お問合せ/お申し込みは、耳原総合病院
☎072-241-0501 FAX:072-244-3577

サロン交流会

テーマ「人生の最終段階
～あなたの希望を叶えるためには?」

日程◎7月17日(火)午後1時半～3時半
会場◎支部事務所(JR新大阪駅、地下鉄御堂筋線
新大阪駅から徒歩5分)

小澤和夫支部顧問が、そのための提案を30分お話
し、その後皆さんと意見を分かち合います。

中国地方支部

☎ 082-244-2039 ✉ chugoku@songenshi-kyokai.com

支部公開講演会

日程◎9月2日(日)午後1時半～4時
会場◎広島国際会議場地下1階
会議運営事務室5・6
＝広島市の平和記念公園内

演題「今を生きるコツ
～より良く生きるために」

講師◎沼野尚美さん 宝塚市立病院 緩和ケア
病棟チャプレン・カウンセラー

病院薬剤師から病院チャプレン、カウンセラー
に転職。これまで10か所のホスピスで勤務し、
3,000人以上の方々と生と死に関わってきた
講演後、質疑応答があります。

定員◎140人(先着順) 入場無料

後援◎広島県、広島市、広島県医師会、広島市
医師会、広島県歯科医師会、中国新聞
社、在宅・施設医療ネットワーク広島、
高齢社会をよくする女性の会・広島、
中国シニアライフアドバイザー協会、

広島県社会福祉協議会、広島県介護福
祉士会、広島県介護支援専門員協会、広
島理学療法会

かかりつけ医師をご紹介ください LW受容協力医師を増やしましょう

会員皆様の不安として周辺の医師に受容協
力医がないことがあると思います。不安を
少しでも和らげるため、皆様のかかりつけ医
をご紹介していただければ、支部よりその医
師に「協会の受容医登録」をお願いします。
詳しくは会員証をご準備の上、中国地方支
部までご連絡をお願いします。会員の①お名前
②会員番号③お電話番号、かかりつけ医の
①お名前(医院名)②住所③お電話番号をご
用意のうえ支部へ電話あるいはメールでよ
ろしくお願いします。



苦節30年の立法運動実る 法王様もひと押し？ イタリア「尊厳死法」成る

1枚の写真がある。昨年12月14日付の「ニューヨークタイムズ」紙(Web版)が掲載した。「イタリア、リビングウイルと、終末期医療の拒否を容認」の見出しの通り、この日、リビングウイル法が国会で成立した。その瞬間、傍聴席で支援者たちが感極まった。

少し旧聞になる。イタリアで「尊厳死法」が制定され、今年1月31日施行された。Websiteの英文情報を前に乏しい語学力がもどかかった。4月、国立国会図書館が「外国立法」レポートで取り上げ、ようやく内容が理解できた。

治療拒否、医師の責任問わず

新法は「尊厳死法」とか「リビングウイル法」と言われるが、国立国会図書館は「インフォームド・コンセント及び事前指示書に関する規定」と紹介した。イタリア語からの訳である。ただ、立法趣旨から「尊厳死法」と位置付けている。

法律名は長いのに、わずか8か条から成る。主要条項に「医師は、医療処置の拒否や取りやめを望む患者の意思を尊重しなければならず、その結果について刑事、民事上の責任を問われない」とある。簡単さが気になるが、尊厳死法であることは紛れもない。

他に「事前指示書」を規定している。自己決定できなくなる将来に備え、「個々の医療措置の同意あるいは拒否を示す文書」と定義、法的効力を付与した。「リビングウイル法」と呼ばれるのも納得できる。

さて、欧米では終末期医療の話題といえば「安楽死」や「医師による自殺ほう助」の合法化が専らだ。著名な米国紙が、イタリアの、それも尊厳死法とは…

法案は30年間、国会で辛かった

英文の新聞記事のなかで「30」と「3000」という数字が目についた。ニューヨークタイムズによれば「法案は3000以上の修正を突き付けた保守的なカトリック系議員の抵抗で、国会で30年間、辛い思いをしてきた」。国民の8割がカトリック教徒の国で、法

Italy to Allow Living Wills and the Refusal of End-of-Life Care



2017年12月14日の The New York Times (Web) より

案は1980年代から議論されてきたのだ。

まさに「苦節30年、こそがニュースだったに違いない。欧州に限っても英国、フランス、ドイツ、スペイン、ポルトガルなど多くの国が尊厳死を認める法律や制度を持つ。イタリアは「残された先進国、の1つだったのだ。

だから法案は今度もダメという空気が支配的だった。しかし、交通事故による四肢マヒで苦しむミラノの男性DJが2017年春、スイスで医師ほう助自殺を遂げる出来事が起こり、空気が変わった。そこへ「ローマ法王のメッセージ」が変化を後押ししたというのだ。

フランススコ法王は2017年11月、バチカンでの医療関係会議で「バランスのとれた治療とは一致しない治療の継続を断念、あるいは中断することは道徳的に妥当」と発言した。改革派として知られる法王が「尊厳死に前向き」と受け取られた。法案に反対していたカトリック系の議員の一部が賛成に転じたといわれ、国会の最終投票結果は、賛成180対反対71だった。

法王様は約束をお守りになった！

実は、ローマ法王庁は1980年、安楽死に関する「バチカン声明」を発表している。安楽死禁止を再確認したうえで「患者の同意のもとに、その希望に沿って治療を中止することは許される」と踏み込んだ。ヨハネ・パウロⅡ世が承認し、今なら「尊厳死容認」声明である。しかし、イタリアは変わらなかった。

写真に戻ろう。30年越しの立法運動が実った瞬間、支援者たちに去来したものは何だったろうか。「法王様は、やはり約束をお守りになった」。そんな声が聞こえたのは、私の気のせいだったろうか。(白井)

LWの受容協力医師 第92報

2018年3月～2018年5月の間に新しく登録なさった医師の方々です。

[会員医師は☑とする]

医療施設名	診療科	医師名(敬称略)	施設所在地	電話
国民健康保険 由仁町立診療所	総合診療	島田啓志	北海道夕張郡由仁町馬追1番地	0123-83-2031
伍光会 北村山在宅診療所	内科 整形外科	橋本政敏	山形県東根市温泉町2-5-3	0237-41-0583
太田熱海病院	リハビリテーション科	草野満夫	福島県郡山市熱海町熱海5-240	024-984-0088
クリニック柳島	内科	中村正樹	東京都墨田区業平2-9-9	03-5619-5077
八木クリニック	内科	瀬戸博美	東京都港区南青山5-4-35-606	03-5469-8848
伍光会 田園調布病院	総合内科	伊藤寿朗	東京都大田区田園調布南22-10 光機舎ビル1F	03-5732-1955
陽だまりクリニック	内科	小見山秀一	神奈川県横浜市港北区鳥山町1106-2	045-620-7806
クローバーホスピタル	内科	開田脩平	神奈川県藤沢市鶴沼石上3-3-6	0466-22-7111
向日葵クリニック	内科 訪問診療	三枝正彦	千葉県八千代市ゆりのき台5-1-2	047-485-6000
久喜在宅クリニック	内科 緩和ケア 整形外科	熊懷真吾	埼玉県久喜市久喜北1-12-10	0480-38-6788
久喜在宅クリニック	内科 緩和ケア 整形外科	熊懷りか	埼玉県久喜市久喜北1-12-10	0480-38-6788
久喜在宅クリニック	内科 緩和ケア 整形外科	原田 亮	埼玉県久喜市久喜北1-12-10	0480-38-6788
い内科クリニック	内科	井 益雄	長野県上田市古里166-1	0268-21-3737
小林医院	内科 外科	小林経宏	大阪府大阪市鶴見区鶴見4-11-66	06-6915-7777
済生会江津総合病院	内科 外科	阿部重郎	島根県江津市江津町宍道1016-37	0855-54-0101
福田内科クリニック	内科	福田克彦	島根県松江市上乃木9-4-25	0852-27-1200
佐貴内科医院	内科	佐貴 裕	島根県松江市八雲町日吉194-10	0852-54-0886
遠賀中間医師会おんが病院	内科 外科 小児科 整形外科 放射線科 麻酔科	末廣剛敏	福岡県遠賀郡遠賀町尾崎1725-2	093-281-2810
遠賀中間医師会おんが病院	内科 外科 小児科 整形外科 放射線科 麻酔科	杉町圭蔵	福岡県遠賀郡遠賀町尾崎1725-2	093-281-2810
遠賀中間医師会おんが病院	内科 外科 小児科 整形外科 放射線科 麻酔科	岩浪崇嗣	福岡県遠賀郡遠賀町尾崎1725-2	093-281-2810

【受容協力医師についてのご案内】

全国に1800名ほどの医師が登録しておりますLW受容協力医師のお名前は、協会各支部のホームページ(HP)で閲覧することができます。会員専用認証パスワードは「jsdd(半角小文字)」です。各支部のHPアドレスは会報の最終ページ左隅に掲載してあります。紙に印刷した受容協力医師リストをご希望の方は、各支部にご連絡ください。ファクスか郵送でお送りいたします。

ご寄付ありがとうございました(敬称略)

2018年3月7日～18年5月28日に
ご寄付いただいたの方々です。

赤塚加代子 7,320	古平美代子 1,000	中島晋吾 1,640	向井和子 1,000
赤塚陽子 3,450	後藤厚子 100,000	中嶋敏夫 5,000	山口 隆 3,000
我孫子孝夫 10,000	小林尚子 8,000	永池美千代 10,000	匿名・奈良県 12,982
安澤菊枝 5,000	小山トシ子 2,000	西川直也 17,000	匿名・福岡市 3,000
石川勝義 5,442	坂主幸子 3,000	西川 明 3,000	匿名・東京都 5,000
稲田善男・ミドリ 100,000	島 周治 10,000	林 喜久江 10,000	匿名・富山県 2,000
岩村 巖・麗子 4,000	白石五十鈴 5,000	原 明 16,511	【関東支部扱い】
梅津 勉 31,980	杉田茂子 10,000	樋口静枝 10,000	匿名 3,000
梶田 敏 1,863	杉山富美子 5,000	福田一雄 2,000	【北海道支部扱い】
片岡澄子 10,000	竹内敬之助 9,000	藤田ミヤ子 26,000	金澤欣哉 5,000
勝間田 泉 2,000	田代義人 3,000	三坂香春 3,420	【東海支部扱い】
神永栄代 1,000	田所陽子 2,000	水野善兵衛 10,000	森 久美子 2,048
河根幸子 3,000	田中勝子 3,480	水野明子 10,000	【関西支部扱い】
川原八重子 3,000	田邊貞憲 1,000	水口淑恵 10,000	匿名 5,000
河村啓子 10,000	津田つた子 35,839	嶺 貴美恵 6,000	
光武勝信 3,120	土井繁紀 30,000	嶺 貴美恵 3,000	

ご寄付は、現金書留、あるいは郵便振替口座「東京00130-6-16468」をご利用ください。切手でのご寄付もお受けしています。いずれの場合も、「お名前」「会員番号」と送金の目的が「寄付」であることをお書き添えください。

●本部

〒113-0033
東京都文京区本郷2-27-8
太陽館ビル501
TEL 03-3818-6563
FAX 03-3818-6562
メール
info@songenshi-kyokai.com
ホームページ
http://www.songenshi-kyokai.com/
郵便振替口座
東京00130-6-16468

●北海道支部

〒060-0807
札幌市北区北7条西2丁目6
37山京ビル801
TEL 011-736-0290
FAX 011-299-3186

●東北支部

〒980-0811
仙台市青葉区一番町1-12-39
旭開発第2ビル703号室
TEL 022-217-0081
FAX 022-217-0082

●関東甲信越支部

〒113-0033
東京都文京区本郷2-27-8
太陽館ビル501
TEL 03-5689-2100
FAX 03-5689-2141

●東海北陸支部

〒453-0832
名古屋市中村区乾出町2-7
正和ビル2階
なかむら公園前法律事務所内
TEL 052-481-6501
FAX 052-486-7389

●関西支部

〒532-0003
大阪市淀川区宮原4-1-46
新大阪北ビル702号
TEL 06-4866-6365
FAX 06-4866-6375

●中国地方支部

〒730-0024
広島市中区西平塚町2-10
TEL 082-244-2039
FAX 082-244-2048

●四国支部

〒790-0067
松山市大手町1-8-16
二宮ビル3F B
TEL 089-993-6356
FAX 089-993-6357

●九州支部

〒810-0001
福岡市中央区天神1-16-1
毎日福岡会館5階
TEL&FAX 092-724-6008

※北陸支部は東海支部に統合されました

各支部HPへのアクセスは
本部HPからのリンクをご利用ください。

リビング・ウイル Living Will

(終末期医療における事前指示書)
(平成29年7月改訂)

この指示書は、私の精神が健全な状態にある時に
私自身の考えで書いたものであります。

したがって、私の精神が健全な状態にある時に私
自身が破棄するか、または撤回する旨の文書を作成
しない限り有効であります。

□ 私の傷病が、現代の医学では不治の状態であ
り、既に死が迫っていると診断された場合に
は、ただ単に死期を引き延ばすためだけの延
命措置はお断りいたします。

□ ただしこの場合、私の苦痛を和らげるため
には、麻薬などの適切な使用により十分な緩和
医療を行ってください。

□ 私が回復不能な遷延性意識障害(持続的植物
状態)に陥った時は生命維持措置を取りやめ
てください。

以上、私の要望を忠実に果たして下さった方々
に深く感謝申し上げますとともに、その方々が私の要
望に従って下さった行為一切の責任は私自身にあ
ることを付記いたします。

リビング・ ウイルの勧め

日本尊厳死協会は、命の終わ
りが近づいたら延命措置を望ま
ないで、自然の摂理にゆだねて
寿命を迎えるご自分の意思を表
した「リビング・ウイル」を発
行、その普及に努めています。
現在11万人の方々が「リビン
グ・ウイル」を持ち、安心した
日々を送っています。自然のま
ま寿命を迎えることは、最期
の日々をよりよく生きること
であり、今を健やかに生きること
につながります。
お友だちやお知り合いに協会
や「リビング・ウイル」のことを
お伝えいただければと願ってい
ます。

事務局から

会費の自動払込のご案内 希望者はご連絡ください

協会年会費払い込みには、自動払込制度(金融機関口座から
自動引き落とし)制度があります。利用には諸手続きがあり
ますので、ご希望の方は本部事務局まで連絡をお願いします。
次の要領で実施しております。

- 対象 ▶ ご希望の会員
- 払込日 ▶ 会費払込該当月の28日(28日が土日
祝日の場合は翌営業日に引き落とし)
- 払込額 ▶ 会費相当額
- 手数料 ▶ 1回の払込に162円(150円+税)の
ご負担があります
- 取扱 金融機関 ▶ 国内ほとんどの金融機関(信金、信組、
ゆうちょ銀行、農協含む)
- 領収書 ▶ 預金通帳の金額摘要欄に協会名を印
字。領収書は発行しない

●なお、これまで同様、コンビニや郵便局での振り込みも可
能です。会報が緑色のビニール封筒で届きましたら年会費の
納入時期です。封筒の表に「年会費払込票在中」と印刷して
あります。銀行振り込みの場合は会員番号(00を省く)も
記入して下さい。なお協会ではコンビニでの振り込みをお勧
めしております



今号の1枚
『青ゆらく』

●「ルポ・受容協力医師制度の
展望」にご登場いただいた今田
かおる医師の話は、あの原発事
故の際に福島県の医療機関が直面
した現実を、生々しく伝えるも
のでした。たおやかな磐梯山麓
の猪苗代町に突如殺到する避難
民、針が振り切れる線量計の中
で懸命に外来で対応する姿が、
不安げな表情とともに浮かび上
がります。今田医師たちはその
後も、チェルノブイリにも出か
け、福島の子どもたちの未来に
思いを馳せています。(郡司)
●5月連休明け、東京大学駒場
キャンパスで、あるゼミの依頼
で「教壇」に立った。テーマは
「リビングウイル(LW)」で、
学生は男女半々の一、二年生30
人。2時間はあっという間。思
いがけない質問には、答えの時
間稼ぎに黒板の前で腕を組んで
みせるなど大変だった。ただ、
今どきLWに関心を持つ学生が
これだけいることが頼もしくな
った。私と向かい合う学生の真剣
な眼差しが忘れられず、伝えて
おきたかったのです。(白井)

Living Will 目次

— 会報2018年7月 No.170 —

- 02 インタビュー
女優 仁科亜季子さん
 - 07 「私の希望表明書」の書面
 - 08 18年度事業計画・予算決まる
 - 10 研修体験記・
キューブラー・ロスの
ワークショップ
 - 12 会報メール配信開始のお知らせ
 - 13 LW受容協力医師制度の展望
ルポ・今田かおる医師の在宅支援
 - 16 ●連載「四季の歌」
夏は来ぬ
 - 18 ●LWのひろば
 - 20 ●支部活動 2018 夏～秋
 - 24 LW受容協力医師のリスト／寄付
 - 25 海外事情・イタリアから
 - 26 事務局から／編集後記／目次
 - 27 終末期医療における事前指示書／
本部支部一覧
- 裏表紙 出版案内

協会会員：10万9990人
(2018年6月7日現在)

次号は、
2018年10月1日発行

※本誌記事の著作権は日本尊厳死協会にあります。
引用、転載に関しましては当協会にご相談ください。

編集後記

新・私が決める尊厳死「不治かつ末期」の具体的提案

編著・発行 日本尊厳死協会 発売 中日新聞社



人生の最期で迷わないために 尊厳死の「不治かつ末期」

専門医が病態ごとに「不治かつ末期」を分かりやすく説明しています。あなたの「？」に答えがあります。

- **がんの末期** 人工的な栄養・水分の補給は、かえって苦しみを増す？
- **持続的植物状態** 延命措置の事前意思表示がない場合、医師や家族はどうしたら？
- **腎不全** 「余命」宣告後に、医師から透析療法を勧められたら？
- **救急医療** 日本救急医学会が示す「終末期」の判断とは？
- **認知症** 「不治かつ末期」をどう考える、延命措置は？
- **老衰** 天寿を全うする「老衰死」。平穏な死を妨げるものは何か？

自分の終末期にどのような医療を望むのか、望まないのか。医師たちは「具体的な意思表示が大切」と訴えています。

モルヒネは鎮痛薬の王者 あなたの痛みはとれる

編著 日本尊厳死協会 発行 中日新聞社

医療用麻薬のモルヒネ 適正使用で「痛み」はとれる

医療用麻薬を適切に使用した緩和医療は会員の願いです。

- **激痛から解放された**
「痛みが取れ、夜よく眠れて、食欲も出てきた。夢のようです」——モルヒネの投与で激痛から解放された患者の喜びの声です。
- **誤解されているモルヒネ**
モルヒネの「中毒になり、死期を早める」「がん末期にしか使えない」といった誤解は、世界の医学界が否定しています。適正に使用すれば「鎮痛薬の王者」なのです。
- **がん以外の痛みにも効果**
帯状疱疹後神経痛、ロコモティブシンドローム、骨粗鬆症による脊椎の圧迫骨折、パーキンソン病、閉そく性動脈硬化症など、がん以外の痛みにも効果があります。
- **専門医がアドバイス**
執筆者の1人、加藤佳子医師は、「痛みは本人にしか分からない。我慢しないで、医師に『痛みを取ってください』と言いましょ」と呼びかけています。



お求めは協会事務局で

いずれも1100円(税・送料込)。お名前、住所、会員の方は会員番号、購入希望本を明記、代金を現金書留または定額小為替か切手相当額を同封して協会事務局(〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-8 太陽館ビル501)宛に。